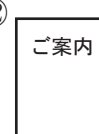
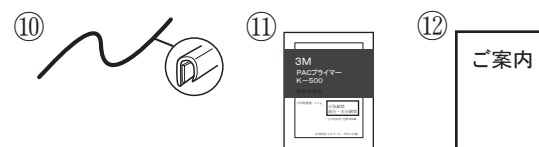
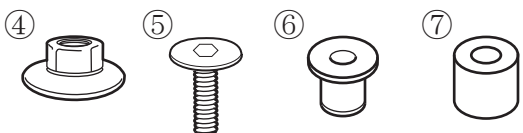
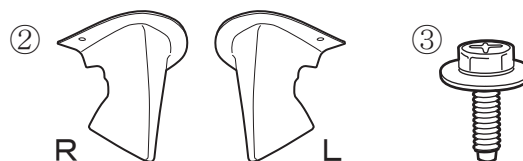




## 【構成部品表】

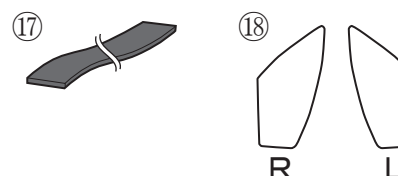
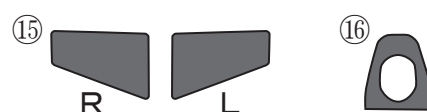
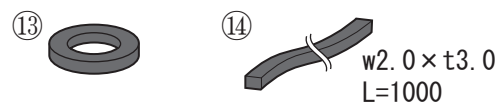
No.	PARTS NAME.	QTY.
①	ウイング スポイラー	1
②	脚部カバー (R/L)	各 1
③	ボルト	2
④	フランジナット	2
⑤	低頭ヘックスボルト	2
⑥	ウェルナット	2
⑦	スペーサー	2
⑧	ステッカー	1
⑨	型紙 a、b、c、d	2
⑩	U型モール	1
⑪	PACプライマー K-500	1
⑫	WEB取説ご案内シート	1



本書本文中の使用部品番号は  
構成部品表に準じます。

## 未塗装品のみ 未装着品

No.	PARTS NAME.	QTY.
⑬	クッション a	2
⑭	クッション b	1
⑮	クッション c (R/L)	各 1
⑯	クッション d	2
⑰	クッション e	2
⑱	両面テープ (R/L)	各 1



## 【必要工具】

- ・ボックスレンチ 10mm ・クリップリムーバー ・ドリルφ3、φ6、φ10
- ・ホールソー φ25、φ35 ・トルクレンチ ・カッター ・ハサミ ・キリ
- ・ヤスリ ・六角レンチ (2mm) ・イソプロピルアルコール ・ウエス ・ガムテープ
- ・ボディ同色のタッチアップペイント ・保護メガネ ・手袋 ・スキージ (へら)

### ◆◆塗装作業の注意事項◆◆

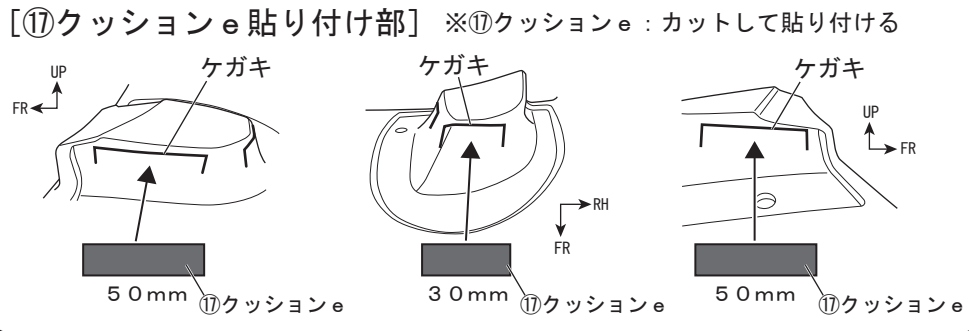
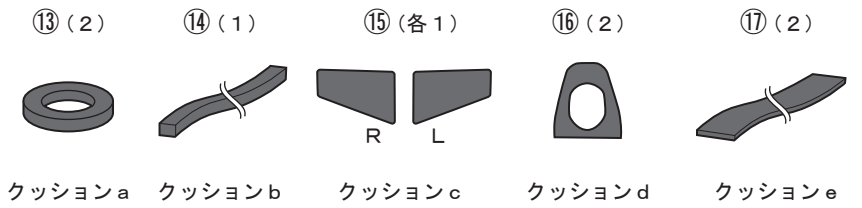
1. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付上限温度は60℃です。60℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意下さい。
2. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。
3. 遠赤外線機でのスポット乾燥はお止め下さい。

推奨品 塗料：2液性アクリルウレタン樹脂塗料 (常温乾燥タイプ)

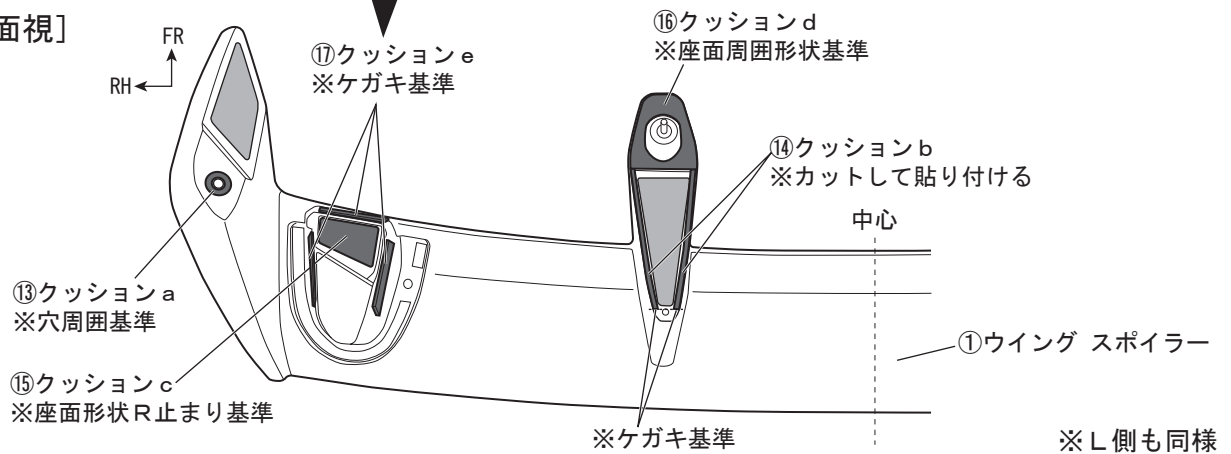
**【未塗装品】** ※塗装済み品の場合はP 4の「I. 取り付け準備」から始めて下さい。

1. 塗装後、⑬クッションa、⑭クッションb、⑮クッションc、⑯クッションd、⑰クッションeを①ウイング スポイラーに貼り付ける。  
 その際に貼り付け面を脱脂すること。

[使用部品]

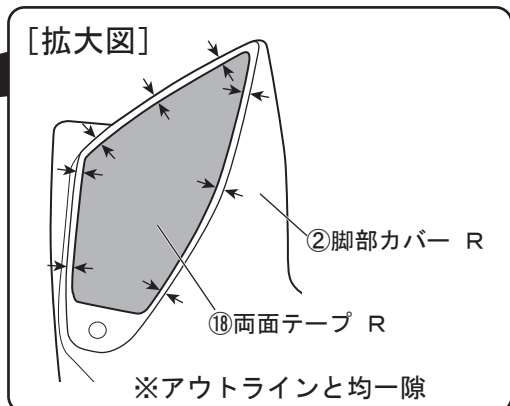
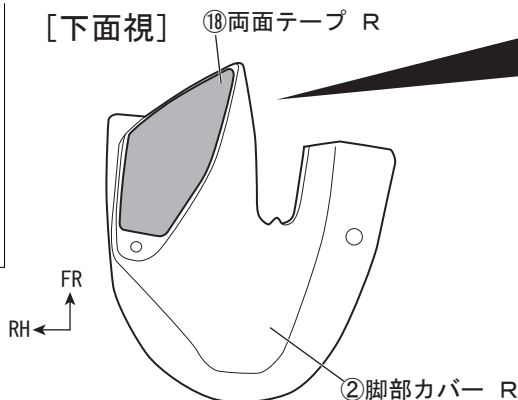
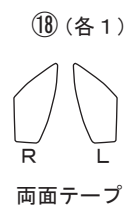


[下面視]



2. ⑱両面テープを②脚部カバーに貼り付ける。  
 その際に貼付け面を脱脂すること。

[使用部品]



※L側も同様

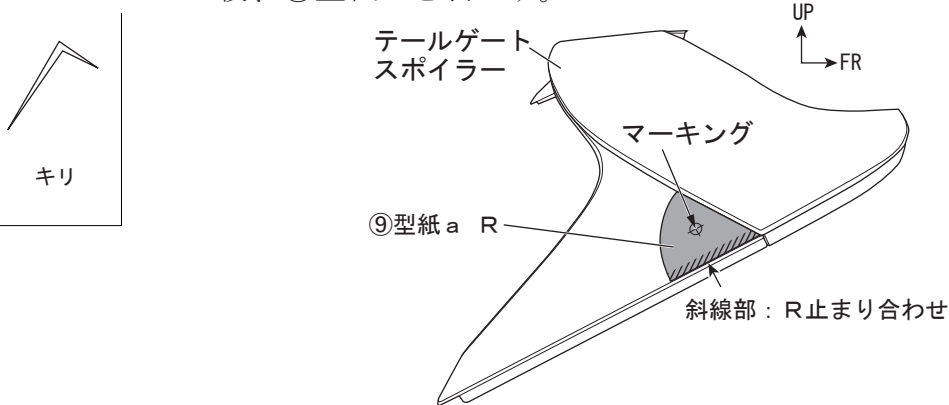
**注意**

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。  
 温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

## I. 取り付け準備

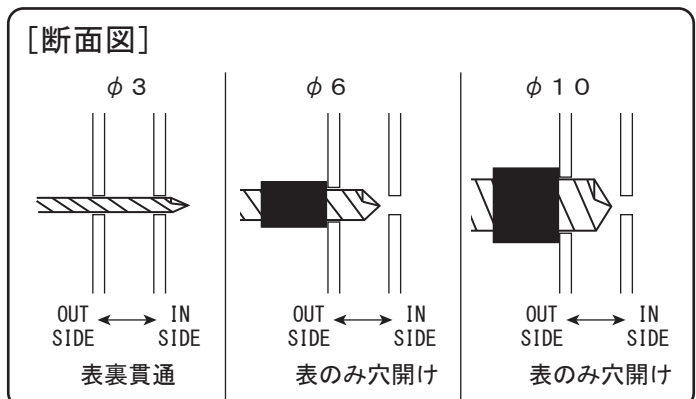
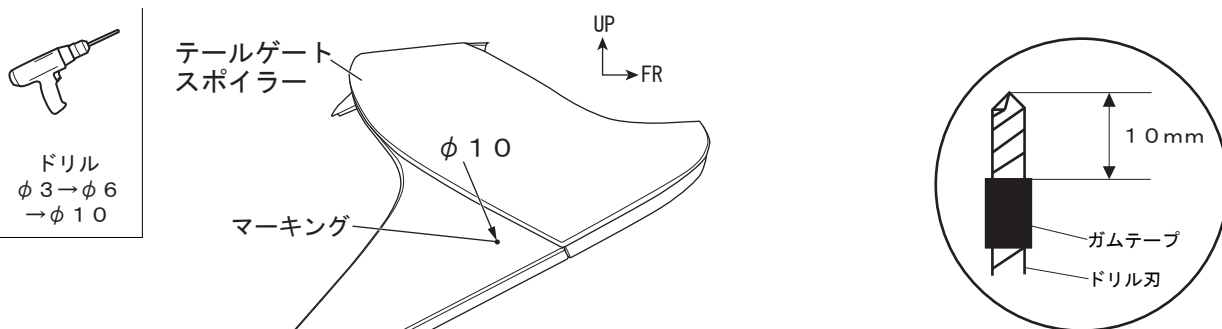
- 《注意》
- ・ウイング スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
  - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
  - ・作業は左右同様に行うこと。
  - ・手を切る恐れがある為、手袋を着用し注意して作業を行うこと。
  - ・切り粉が目に入る恐れがある為、保護めがねを着用し注意して作業を行うこと。
  - ・加工部周辺に切り粉が入ってしまった場合は、クリーナー等で吸い取り除去すること。

1. 車両からテールゲート スポイラーを取り外す。(サービスマニュアル参照)
2. テールゲート スポイラーの図示位置に⑨型紙 a を使用し、穴開け位置をキリで片側 1 か所マーキングする。  
マーキング後、⑨型紙 a を剥がす。



※L側も同様

3. マーキング位置にφ10 (φ3→φ6→φ10) の穴を片側 1 か所開ける。  
※その際にテールゲート スポイラー側面表側からφ3のみ裏側まで貫通させる。  
φ6、φ10穴開け作業の際に貫通防止策としてドリルの刃にガムテープ等を貼っておく。  
穴開け後、穴周囲のバリを除去する。



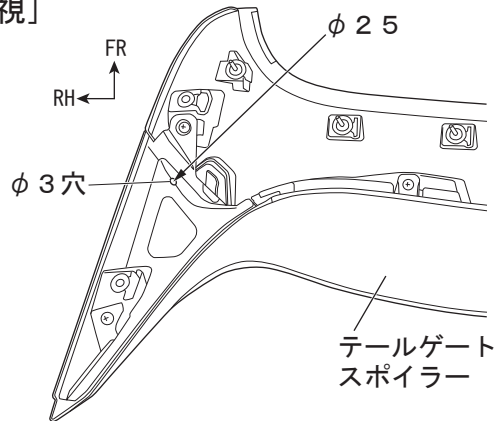
※L側も同様

4. テールゲート スポイラー側面裏側の  $\phi 3$  穴に合わせて  $\phi 2.5$  の穴をホールソーで片側1か所開ける。  
 穴開け後、穴周囲のバリを除去する。



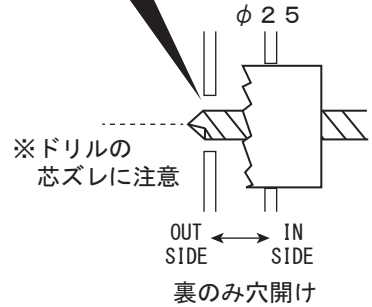
ホールソー  
 $\phi 2.5$

[裏面視]



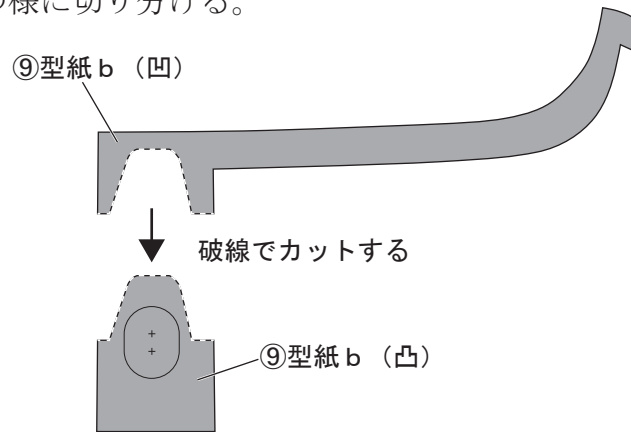
[断面図]

$\phi 1.0$  穴に損傷等影響が出ないように注意すること



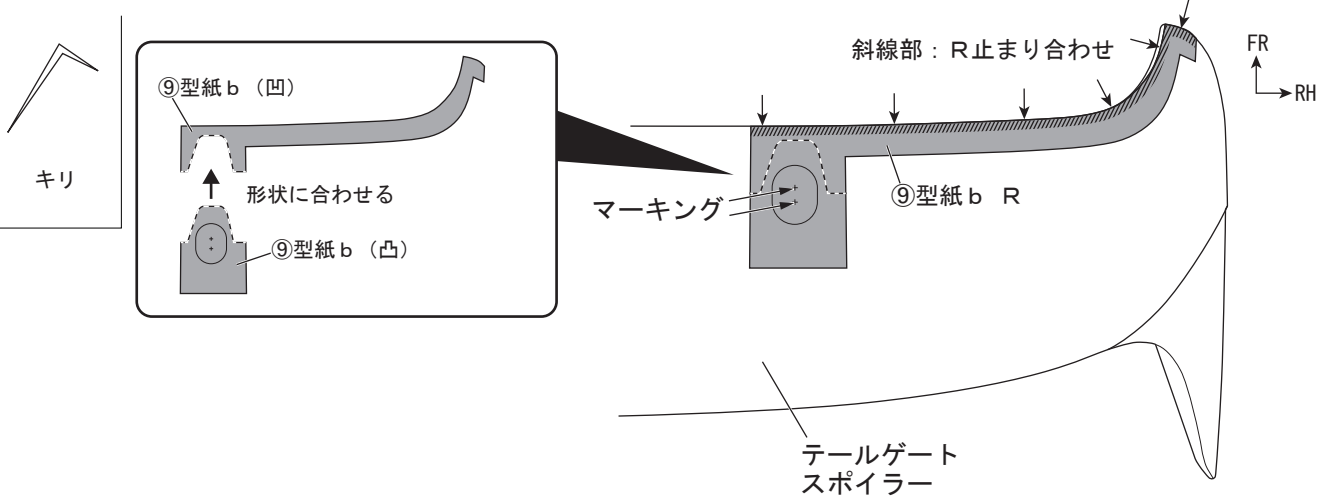
※L側も同様

5. ⑨型紙 b を下図の様に切り分ける。



※L側も同様

6. テールゲート スポイラー上面の図示位置に⑨型紙 b (凹) を当て、マスキングテープ等で固定し、形状に合わせて型紙⑨ b (凸) を当てる。  
 型紙⑨ b (凸) の穴あけ位置に合わせてキリで片側2か所マーキングする。  
 マーキング後、型紙⑨ b (凸) を剥がす。  
 ※⑨型紙 b (凹) は剥がさないこと。

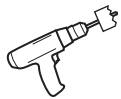


※L側も同様

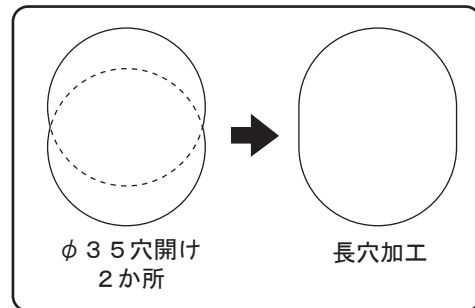
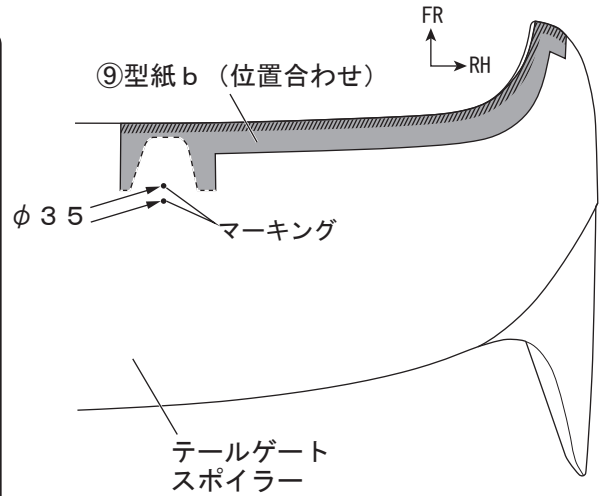
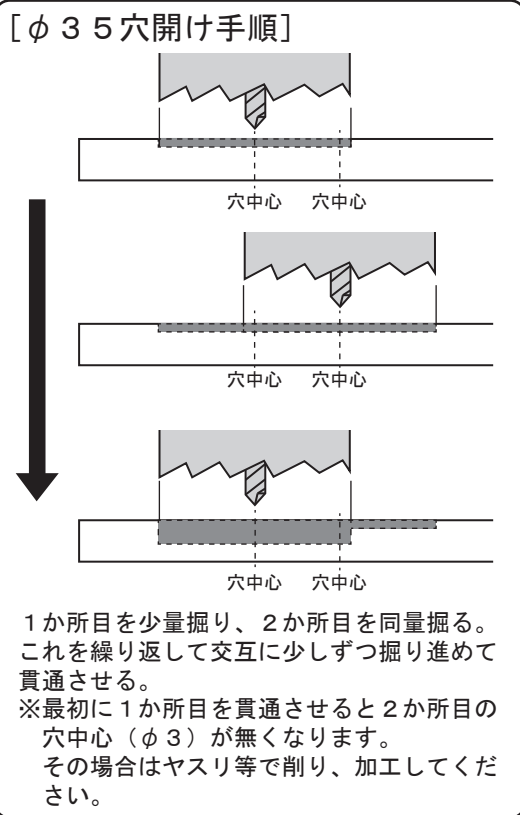
7. マーキング位置にφ35（φ3→φ35）の穴を下図のようにホールソーで片側2か所開け、長穴形状に加工する。  
 穴開け後、穴周囲のバリを除去する。  
 ※穴開けの際にテールゲート スポイラー内部の車両ハーネスを損傷させないように注意すること。



ドリル  
φ3

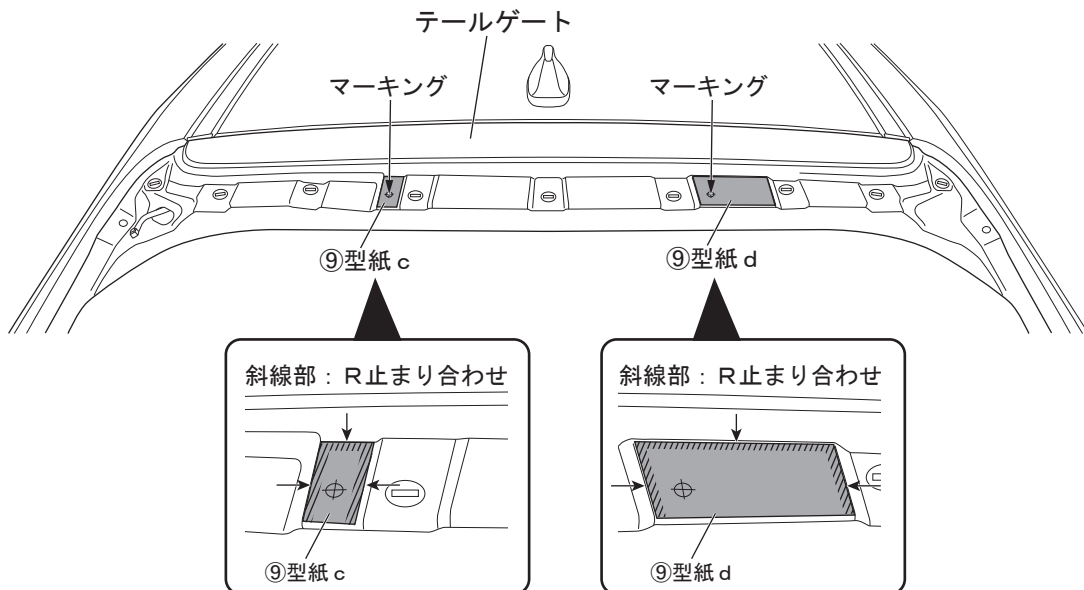


ホールソー  
φ35

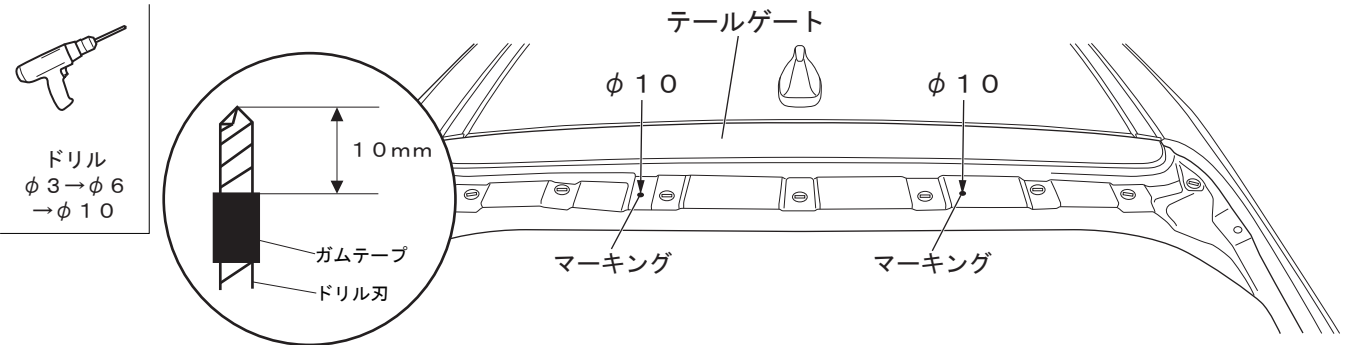


※L側も同様

8. テールゲートの図示位置に9型紙 c、d を使用し、穴開け位置をキリで2か所マーキングする。  
 マーキング後、9型紙 c、d を剥がす。



9. マーキング位置にφ10（φ3→φ6→φ10）の穴を2か所開ける。  
 穴開け作業の際に貫通防止策としてドリルの刃にガムテープ等を貼っておく。  
 穴開け後、穴周囲のバリを除去してタッチアップ等で防錆処理を施す。



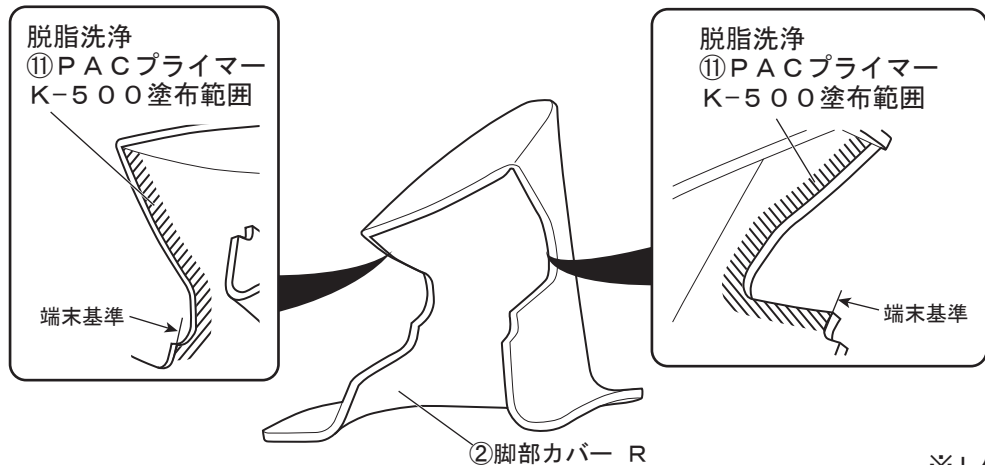
10. ②脚部カバー裏側の下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄し、⑪PACプライマー K-500を塗布する。その際、塗装面にはみ出さない様に注意すること。  
 また、⑪PACプライマー K-500は、付属の説明書に従い扱うこと。  
 ※⑪PACプライマー K-500は後の作業で再使用する為、使用後は速やかに袋に戻し、揮発しないように封をすること。

【使用部品】

⑪(1)



PAC  
 プライマー  
 K-500



②脚部カバー R

※L側も同様

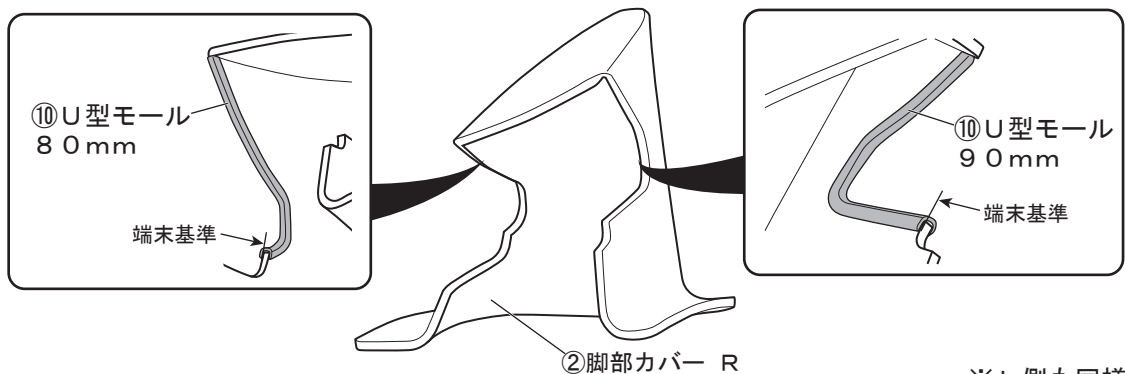
11. ②脚部カバーの下図位置に⑩U型モールを図示寸法でカットして貼り付ける。  
 ※⑩U型モールの両面テープは②脚部カバー裏側に貼り付けること。

【使用部品】

⑩(1)



U型モール



②脚部カバー R

※L側も同様

- 1 2. ②脚部カバーの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄し、⑪PACプライマー K-500を塗布する。その際、塗装面にはみ出さない様に注意すること。  
また、⑪PACプライマー K-500は、付属の説明書に従い扱うこと。

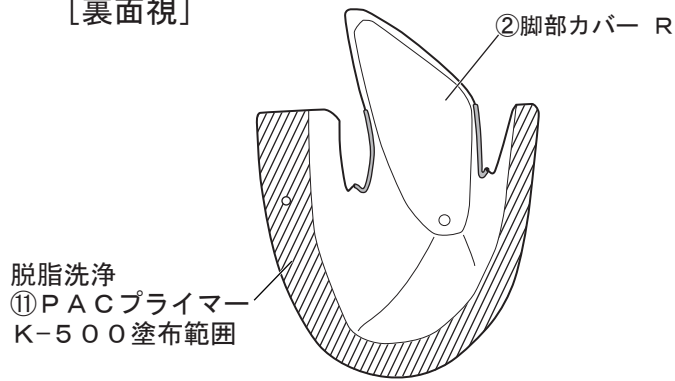
[使用部品]

⑪(1)



PAC  
プライマー  
K-500

[裏面視]



※L側も同様

- 1 3. ①ウイングスポイラーの②脚部カバー取り付け部の穴位置に合わせて⑥ウェルナットを片側1か所取り付ける。

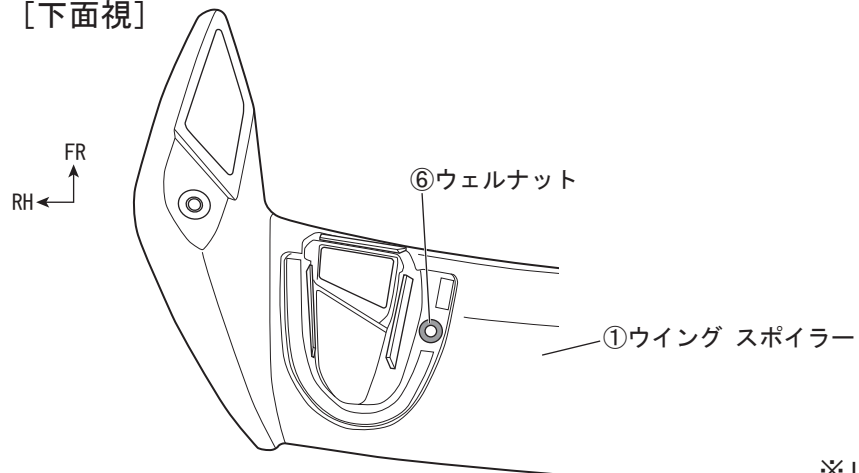
[使用部品]

⑥(2)



ウェルナット

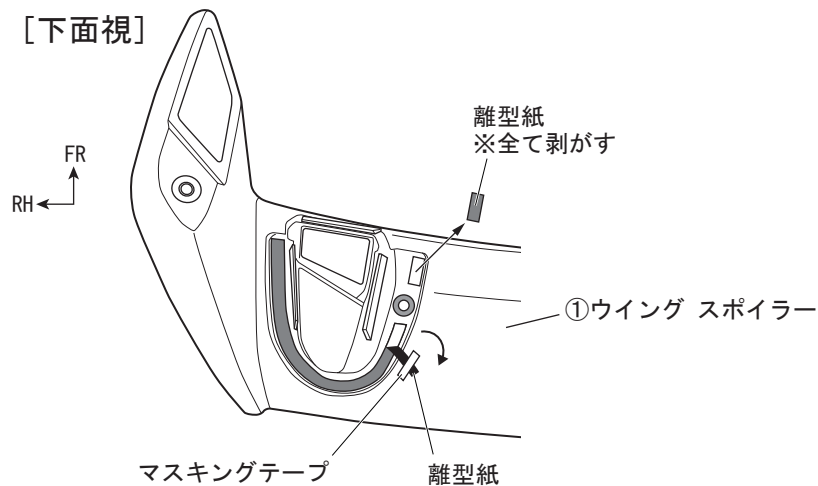
[下面視]



※L側も同様

- 1 4. ①ウイングスポイラーの②脚部カバー取り付け部の両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、マスキングテープで固定する。

[下面視]



※L側も同様

15. ②脚部カバーを①ウイング スポイラーに仮当てし、⑤低頭ヘックスボルトで片側1か所仮締めする。

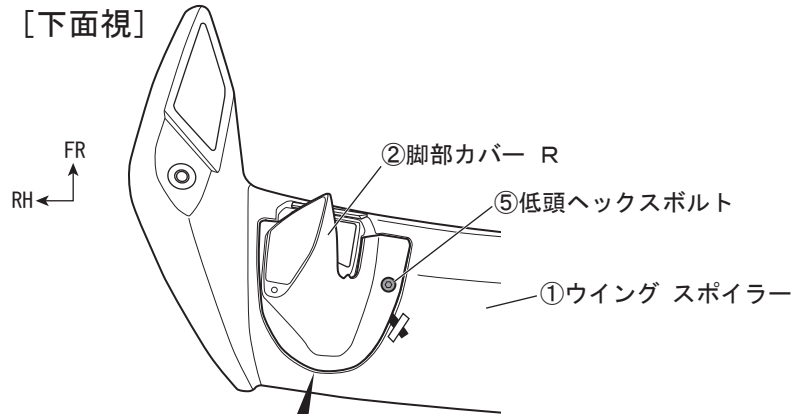
[使用部品]

⑤(2)



低頭ヘックスボルト

[下面視]

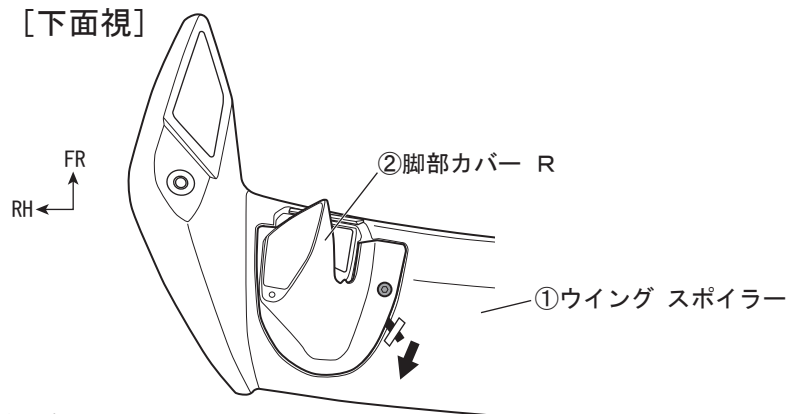


※周囲一定隙

※L側も同様

16. 取り付け位置を確認し、両面テープの離型紙を矢印の方向に剥がし圧着する。

[下面視]



※両面テープの圧着は十分行うこと。

圧着不足は、脚部カバーの浮き剥がれの原因となります。

※L側も同様

**注意**

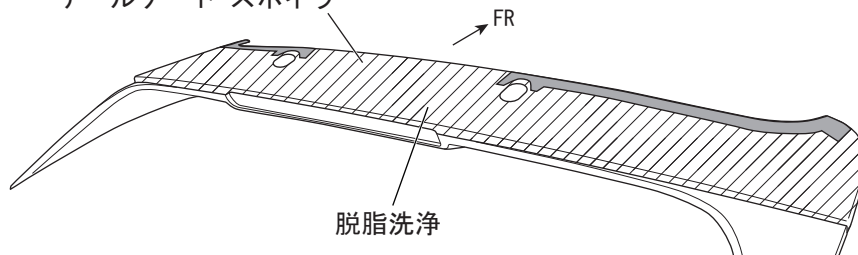
接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。  
温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

17. ⑤低頭ヘックスボルトを本締めする。

⑤低頭ヘックスボルト締め付けトルク  
0.3 N・m

18. テールゲート スポイラーの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。

テールゲート スポイラー



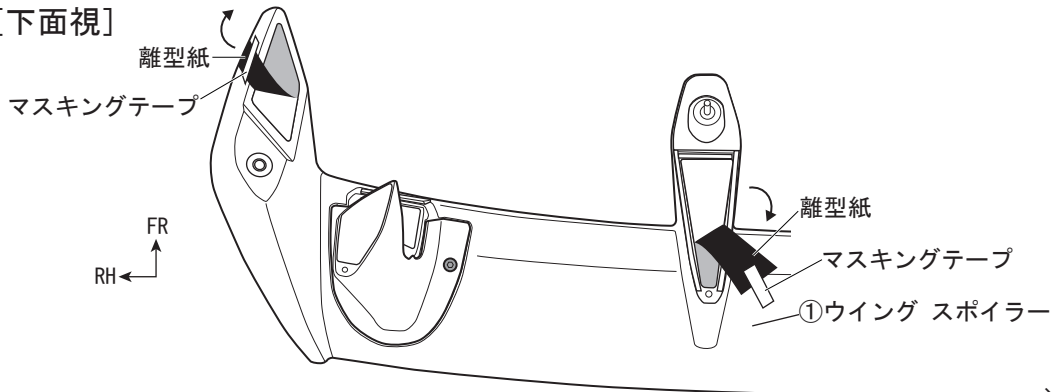
## II. ウイング スポイラーの取り付け

《注意》 ・ウイング スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様に行うこと。
- ・両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後、最低24時間以上は水がかからないようにすること。

1. ①ウイングスポイラーの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、マスキングテープで固定する。

[下面視]

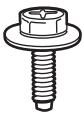


※L側も同様

2. ⑨型紙b (凹) に合わせて①ウイング スポイラーをテールゲート スポイラーに仮当てし、側部裏側のφ25加工穴から③ボルトを入れて片側1か所仮締めする。

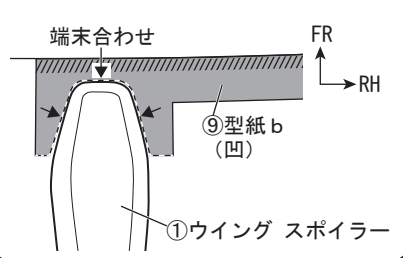
[使用部品]

③ (2)

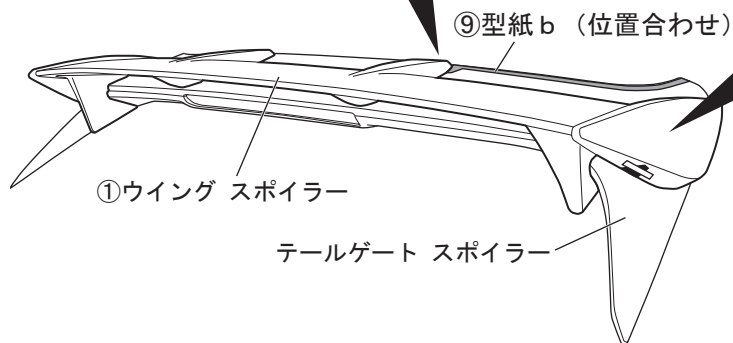
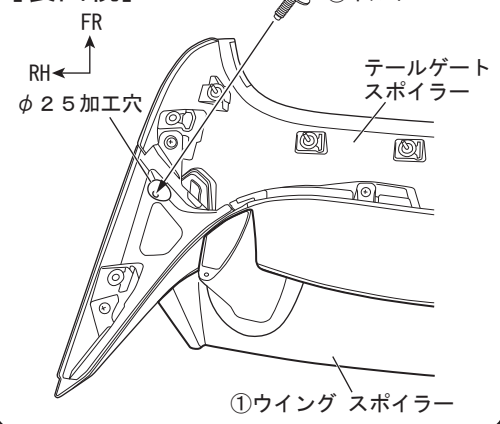


ボルト

[上面視]

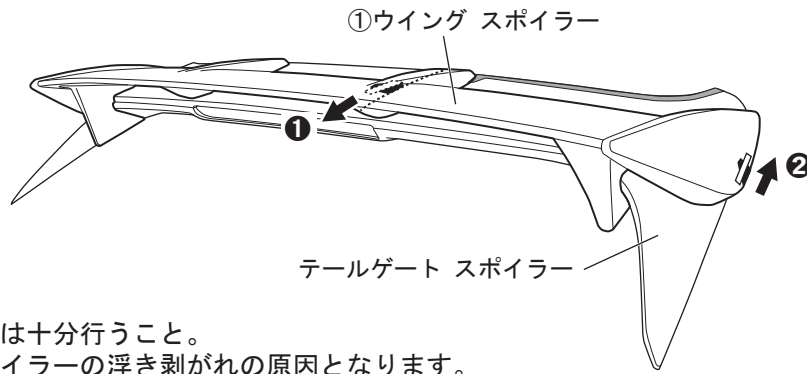


[裏面視]



※L側も同様

3. 取り付け位置を確認し、両面テープの離型紙を矢印の方向に下記順番で引き抜き圧着する。



※両面テープの圧着は十分行うこと。

圧着不足は、スポイラーの浮き剥がれの原因となります。

※L側も同様

**注意**

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

4. ⑨型紙 b (凹) を剥がす。

5. ③ボルトを本締めする。

③ボルト締め付けトルク  
5.5 N・m

6. ⑦スペーサーを①ウイング スポイラーのスタッドボルト台座部に貼り付ける。その際に貼り付け面を脱脂すること。

[使用部品]

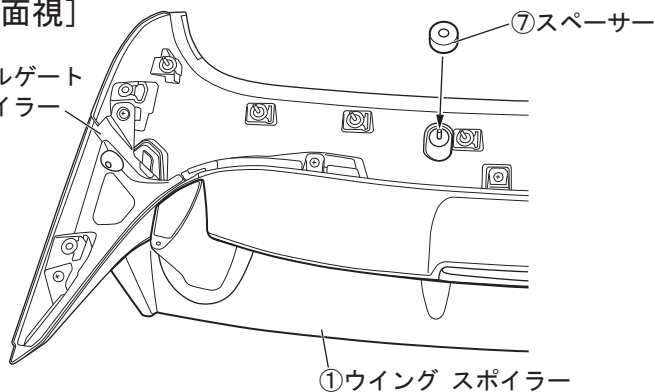
⑦(2)



スペーサー

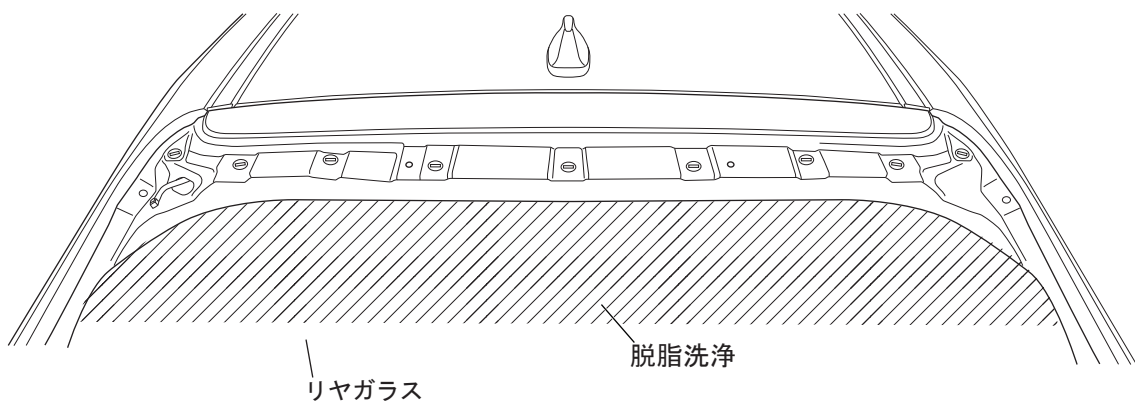
[裏面視]

テールゲート  
スポイラー

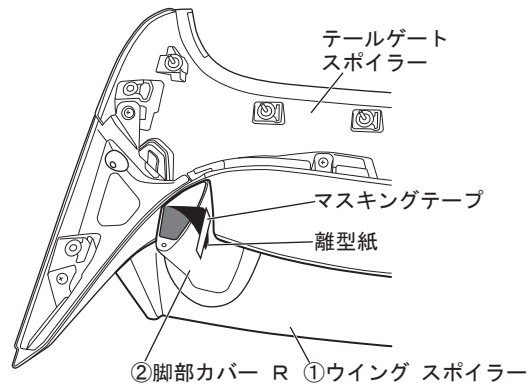


※L側も同様

7. 車両リアガラスの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



8. ②脚部カバーの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、マスキングテープで固定する。



※L側も同様

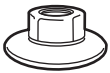
9. テールゲート スポイラーASSYを車両に復元する。(サービスマニュアル参照)

※この工程では内装パネル類は復元しないこと。また、リアガラス面にウォッシャー液が付着していないか確認し、付着している場合は、再度脱脂洗浄すること。

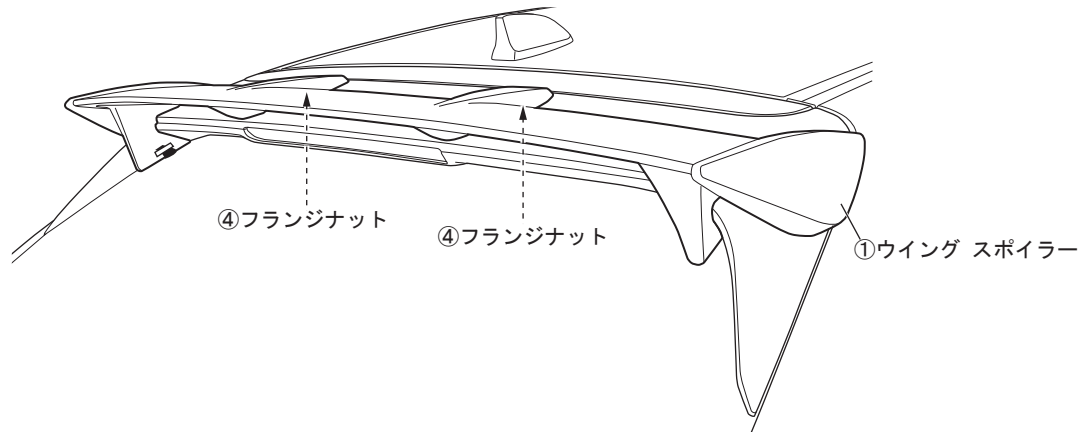
10. テールゲート内側から①ウイング スポイラー中央脚部取り付け部を④フランジナットで仮締めする。

[使用部品]

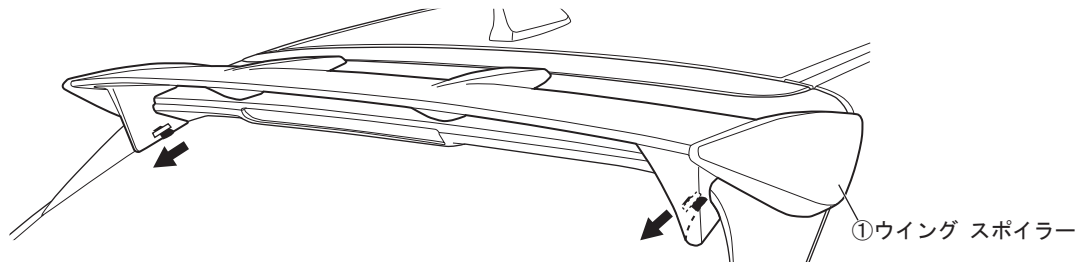
④(2)



フランジナット



11. 取り付け位置を確認し、両面テープの離型紙を矢印の方向に引き抜き圧着する。



※両面テープの圧着は十分行うこと。

圧着不足は、脚部カバーの浮き剥がれの原因となります。

**注意**

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。  
温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

12. ④フランジナットを本締めする。

④フランジナット  
締め付けトルク  
5.5 N・m

13. テールゲートの内装パネル類を復元する。(サービスマニュアル参照)

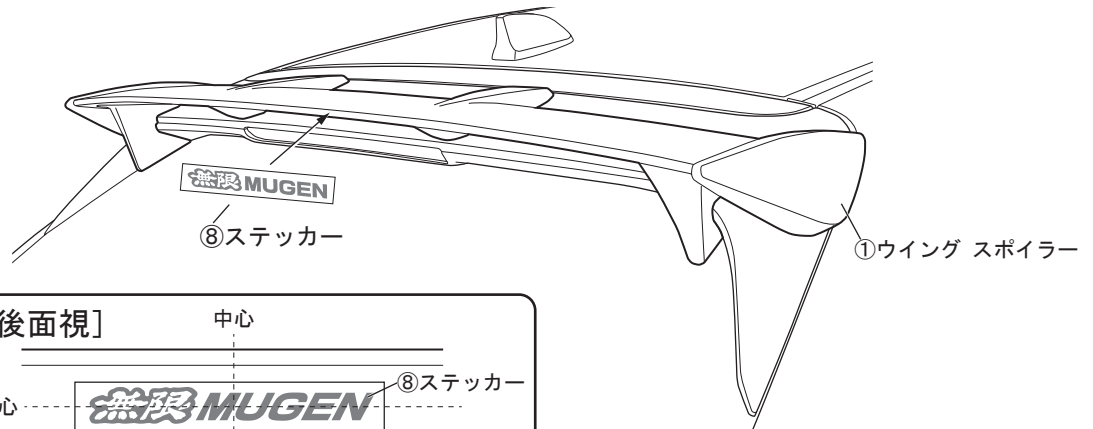
- 1 4. 貼り付け面を脱脂し、①ウイング スポイラー後面に⑧ステッカーを貼り付ける。  
 貼り付け後保護フィルムを剥がすこと。  
 ※圧着の際は、スキージ（へら）を使用し、気泡が入らないよう注意しながら圧着  
 すること。  
 ※スキージ（へら）で製品表面に傷を付けないよう注意して作業を行うこと。  
 ※高温（30℃以上）や高湿度の環境下で作業を行うとステッカーの接着不良の  
 原因になりますのでご注意ください。

[使用部品]

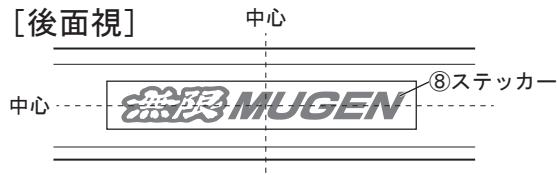
⑧(1)

無限 MUGEN

ステッカー



[後面視]



①ウイング スポイラー後面中心に合わせて  
 貼り付ける。

[無限ステッカー貼り付け位置参考例]  
 ※ここで明記しているステッカーの貼り  
 付け位置はあくまで一例です。  
 ご自由な位置にお貼りください。

- 1 5. 取り付け状態に不良がないか確認する。

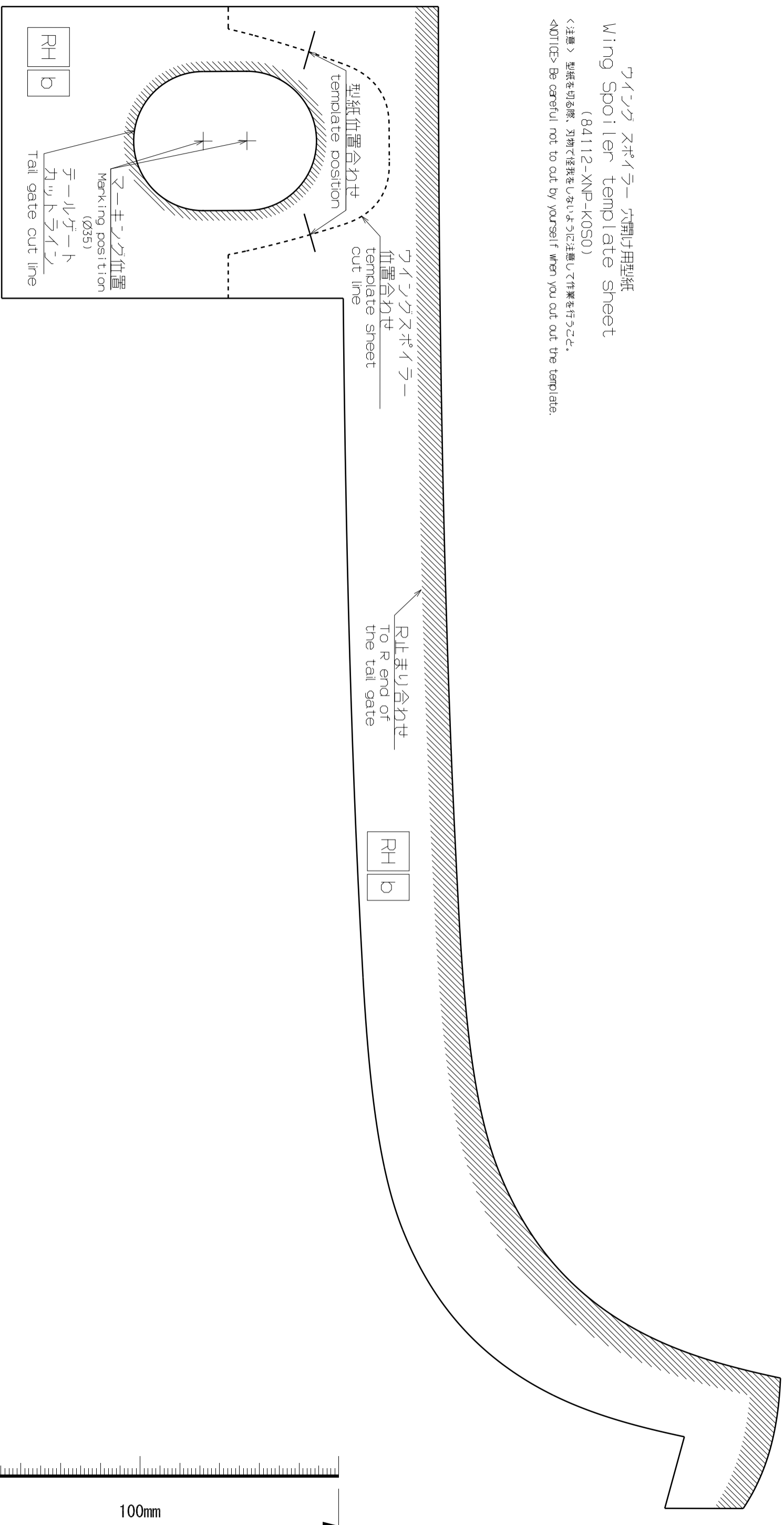
# ウイングスポイラー 穴あけ用型紙

## ウイング スポイラー 穴開け用型紙 Wing Spoiler template sheet

(84112-XNP-K050)

<注意> 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行ってください。

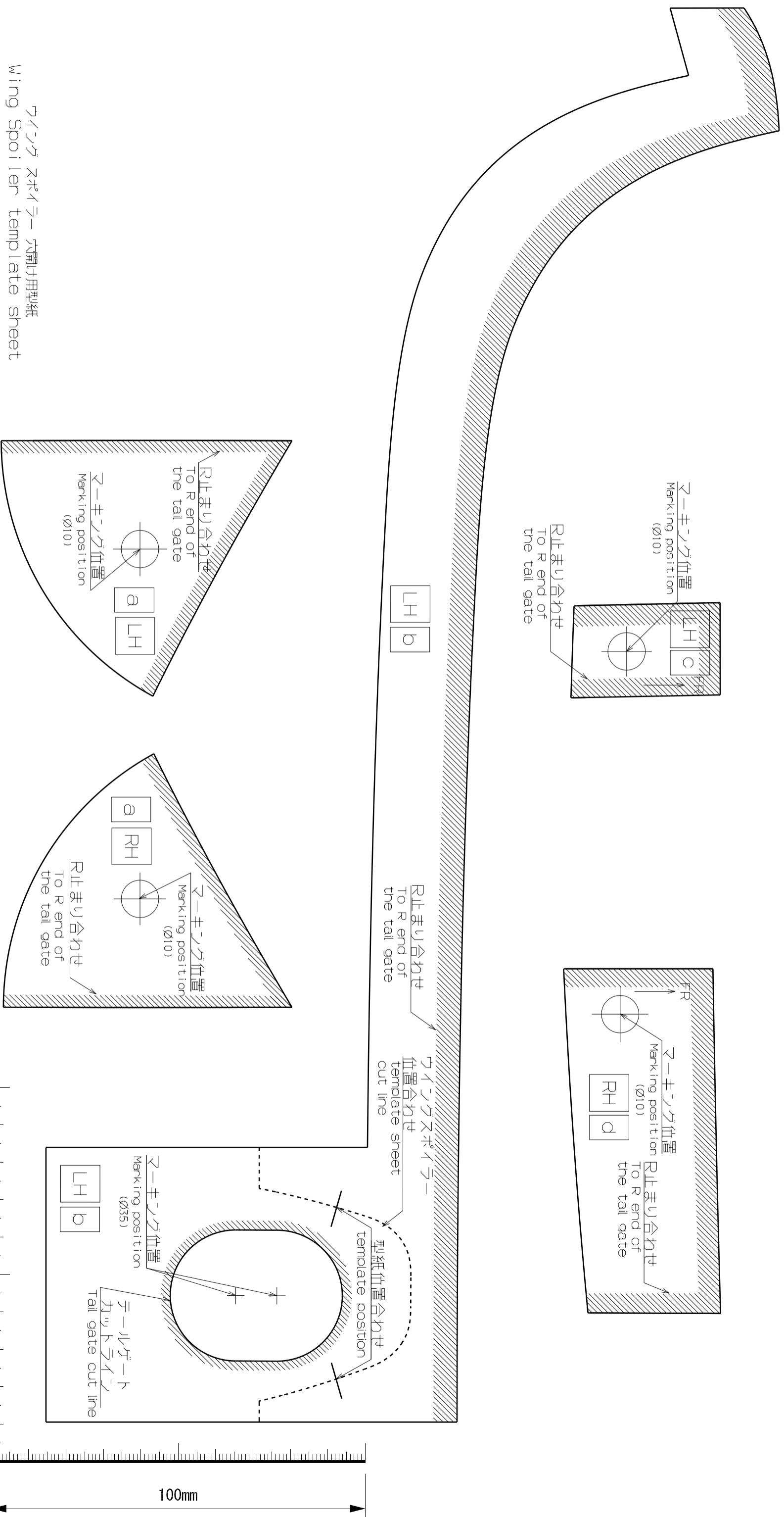
<NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.



2021.9.1

SCALE 1/1

ウイングスポイラー 穴あけ用型紙



ウイング スポイラー 穴開け用型紙  
Wing Spoiler template sheet

(84112-XP-K050)

<注意> 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。  
<NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.

2021.9.1

SCALE 1/1